

ひろば

平成17年11月1日発行

発行人 田沼武能 阪川武志

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 電話 (03) 3372-1321

巻頭言
会報「ひろば」に寄せて①

理事・評議員会報告②

芸術学部2006年度
入学試験日程④

編集後記④

巻頭言

会報「ひろば」に寄せて

写工専26期 柳谷次男



同窓会は昭和50年9月（1975年）表題「東京写真大学同窓会会報」創刊号を発行しています。その後校名の改称に伴い、昭和52年8月15日（1977年）会報第8号表題「東京工芸大学同窓会会報」が発行されました。

その後昭和58年7月1日（1983年）新しく広報委員会が編成されて会報第28号表題「ひろば」が発行されましたが、今年度平成17年11月1日（2005年）を以って通算、第1000号に達しました。30年の実績を重ねたこととなります。

ここで「ひろば」刊行に至った当時を自伝的エッセーのお許しを願って経緯を回想してみたいとおもいます。

昭和57年（1982年）秋頃と記憶しています。講師控室に、村山勇教授（第21期）が突然「よっ、頼みがあるんだ」と入って来られたので、さすが「金ならないよ」と返すと真顔で「そんな事ではないんだ、真面目に聞いてよ」。不肖は、軍務を終えてからの復学であり、村山教授、関教授は二つ年下の世代だったので人前以外はお互いに「よっ後輩の先輩」などと気易く冗舌を交わしていました。用件は人選はこちらでやるから、広報を引受けて欲しいとのことでした。なんで不肖にと真意を問うと、次期の同窓会会長を渡辺義雄先生に依頼をするその使命を考慮した上でのことと聞いて、思わず身構えてしまいそうになりました。村山先生の真摯な語り口に圧倒され、なお窮余の策と云われれば従わざるを得ませんでした。

後日、渡辺先生に面会をお願いをして、四ツ谷の研究所を訪ね用件を説明するとじっと聞いて居られた、先生の表情が陰しくなり、「その話なら断わる、それよりも君は私の手助けを一寸ともしないで突然、同窓会に出てきて何事だ」と一喝され、まさにその通りであって唯々平身低頭、身の置きどころに窮するとはこの事かと痛感して、来訪者を幸いに早々と退去しました。

（当時、日本写真家協会の会長であった先生は、協会の人化で大変苦慮されていた時期でした）

意を決して再度の訪問は研究所のビルの前で待機しました。10時近くに先生が見えて少し驚かれた様子でしたが「早いなえ、まあ入りなさい」と意外に快く迎えてくれました。椅子に腰掛けると「お茶はお湯を沸かさなければならぬからこれを」とテーブルの下から、ウイスキーと茶碗を二つを取り出して注ぎながら笑顔で「これが一番でねえ、少し時間が早い君も遠慮せずにやろう」と勧められたがその時は何とも言い難い迫真感と信頼感の入り混じった雰囲気でした。色々な話しの中で写真時代、校名改称の交渉に臨んだ学生代表の一員であったことや、同窓会創立に奔走したこと等、その当時の貴重な話を直接聞けたことは収穫でした。真昼の原液が効いて真つ赤になった顔を見て「君も大変だね、同窓会の事は考えておくれよ」と云われた瞬間、気の弛みもあって急に眩暈を感じたことは今以て鮮明です。何れにしても公私共に多忙であった先生には大変迷惑な話であったに違いないと思います。

数日の後、意向を伺いに再度研究所を訪ね「私には何の野心もないんだ。一期だけ引受けよう、一期だけでよ」と念を押して承諾されましたが、まさに三度目の正直でした。以後の対応を、村山、関、の両先生に託して使命を一つ果たすことができました。

新広報委員の人事は、村山、関先生の連携に違いないが、先生の信条が感じられる人選です。会報の編集を前提に、職業、役職、専門知識、趣味など通じて夫々違う価値観、個性を備えた人材を選考されています。新委員は改めて記すまでもありませんが下記の方々です。

- 学外委員、敬称略（当時の職業）
- 第34期・川名晴美（富士写真フイルム勤務、管理職、趣味尺八吹奏）
- 第34期・中村正弥（メス工業勤務、管理職、趣味アマチュア無線）
- 第41期・川端秀樹（広告企画制作社役員）
- 学内委員、敬称略（現職）
- 第37期・阪川武志（写真学科教授、写真制作システム研究室）
- 第44期・花川正英（映像学科講師、テレビ・ビデオ研究室）
- 第47期・内藤 明（写真学科教授、デジタル表現研究室）
- 第26期・柳谷次男（写真家）

以上の計7名と発行人第3期・渡辺義雄会長（写真家）を迎えて、新しい会報発行の態勢が整えられました。

その後、女性会員が多くなったことから委員に、第28期・伊藤益子（旧称赤堀、写真家、福島県只見川発電所建設現場取材にて名を成す）が参加しました。

表題「ひろば」の呼称、A4判アト紙使用、表1のデザイン等は、第1回の顔合わせを兼ねた委員会で決められました。

委員会（編集会議・作業）は毎回、阪川研究室にて午後18時頃から行われましたが、働き盛りの各委員は多忙でした。

阪川先生は実験で残っている学生の指導をしながら、花川先生は厚木の工学部から直行、内藤先生は専門誌原稿執筆途中、川名委員は会議で遅くなりすみませんと茶菓子持参、中村委員は大きなバッグを担ぎ汗を拭きながら、これが済んだら夜行で出張です。赤堀委員はバイクを駆っての出席、こうした状況は珍しくなかったが、和気藹々の中に会報の思索、編集を勤めていました。委員のこの様な努力と実行力の裏付けによって「ひろば」は今日の定着をみるに至ったと云えます。「ひろば」を回想して思い起されるのは、同窓会の発展に渾身の努力をされた、村山勇先生、関 一先生、渡辺義雄先生の存在です。鬼籍に入られた順番が渡辺先生とは逆でしたが、人格の真剣さ、誠実さは逆はありえませんでした。

文章の簡潔さに大変欠けましたが、今日もなお引続き「ひろば」の編集に貢献されている、阪川武志先生を始め委員の方々に心から敬意を表すると共に、ご健勝と一層のご活躍を願って終えたいとおもいます。

元同窓会副会長・広報委員会

理事・評議員会報告

●日時：平成17年6月27日（月）18:00～19:35
 ●場所：東京市谷・アルカディア市谷（私学会館）

本会の理事・評議員会が6月27日（月）18時より東京市谷アルカディア市谷（私学会館）にて開催されました。会議後はどう会場にて懇親会が開催され、このなかで新しく定められた東京工芸大学同窓会長賞の贈呈式がおこなわれ、デザイン学科4年次生・高田光美（ただみつみ）さんが受賞されました。

議事

司会進行・奥田副会長
 会議の成立について、理事・評議員会構成員78名、出席者38名、委任状34名、合計72名の主席にて成立したことが奥田副会長より報告された。

議長・田沼会長（会則第3章第12条による）
 書記・阪川専務理事

議題

(1) 開会挨拶・田沼会長
 2期目を迎える方針・田沼会長より挨拶があり、同窓会の来年80周年に向けて沿革史当の編纂が進行していること、現在芸術学部5学科あつてそのうちの4学科まで卒業生がいる現在の本会活動が写真寄りから各分野に広がってほしいこと、支部活動の活性化について発言された。

(2) 新執行役員・理事・評議員（支部長を含む）の承認
 資料1のとおり提案があり、承認された。

(3) 平成16年度活動報告について
 1 総務委員会（川名専務理事）
 会議は、12月13日、5月23日理事会、6月27日（本日）理事評議員会、9月～10月に理事会予定。総務委員会で支部活動について検討した。支部は整備がすすんでいる。

2 広報委員会（阪川専務理事）

「ひろば」の97・98・99号を発行した。

3 事業委員会（加藤理事長）

平成17年3月24日に卒業式が行われた。その後、卒業式会場の中野サンプラザにて、同窓会・後援会による卒業祝賀会を開催した。田沼会長、同窓生、森下後援会長、小野法人理事長、教職員、新卒業生ら役400名が集った。盛会であった。

4 沿革史制作委員会（阪川専務理事）

発行作業に遅れが生じたが、5月23日理事会にて明年が80周年なので80周年沿革史として再構成し年末に発行することとしたことが報告され、了承された。

5 ホームページ準備委員会（木村専務理事）

本日大学のホームページとリンクしたので、見てほしい旨報告があつた。これからさらに充実していく予定。

(4) 平成16年度決算報告について

1 平成16年度決算報告（花川常務理事）

資料2・3により決算報告された。

(5) 平成16年度会計監査報告

1 監査報告（土屋会計監事）

平成17年5月20日の理事会に先立ち、花川委員より説明を受けた。平成16年度決算、別途会計、特別会計について監査した。適正に処理されたことが報告された。

(6) 平成17年度各専務委員会構成の承認

1 委員長の指名（田沼会長）

田沼会長から委員長が指名された。委員は委員長が指名することとなった（資料6）。

広報委員会（阪川専務理事）、総務委員会（川名専務理事）、事業委員会（加藤理事長）、沿革史制作委員会（阪川専務理事）、ホームページ準備委員会（木村専務理事）

(7) 平成17年度活動計画について

1 総務委員会（奥田副会長）

委員長が奥田副会長から川名専務理事へ交代。本会の支部組織を再構築することから活動する。現在の14支部から新たに11支部を立ち上げ、25支部とした。地域の写真館の方に支部長をお願いした。来年に支部長会を開催したい。個人情報保護の問題から名簿が発行できない状態に至っているのでこの件様子を見ることにした。

2 広報委員会（阪川専務理事）

委員は6名で実行している。本年度は1000号、101号、102号を発行予定。記事、内容についてさらなる協力をお願いしたい。

3 事業委員会（加藤理事長）

卒業時の新会員歓迎会を開催したい。平成18年3月23日（木）に中野サンプラザを予定している。芸術学部の学生に同窓会長賞を設定した。本年度から実行する。本日この会議のあとで表彰する。

4 沿革史作成委員会（阪川専務理事）

80周年沿革史として年末に発行する予定で作業進行中。

5 ホームページ準備委員会（木村専務理事）

これからひろばとホームページの内容を調整したい。名簿については住所変更などをホームページでやりたい。1ヶ月に1回情報の書き換えを行う。

(8) 制作助成費名称変更について

1 制作助成費を同窓会長賞に変更（加藤理事長）

平成15年度より実行してきたが、この助成金を利用した学生がいなかった。規定が複雑で運用がしにくかったと考えられる。あらためて制作活動を活性化することを目的に同窓会長賞として1年生～3年生の間に顕著な活動があつた場合に表彰することに理事会で改めた。本年度はデザイン学科4年生の高田光美さんを推薦した。以上承認された。

2 学友会活動助成金について（加藤理事長）

新たに学友会活動助成金を昨年の理事会で承認された。工学部・芸術学部併せて35クラブ・

81同好会のサークルが工学部同窓会からの100万円で活性化してきた。このなかで芸術学部の学生が入っているのが本会からの助成金も支出してほしい旨の要請があつて設立した。以上承認された。

(9) 平成17年度予算案について

1 平成17年度予算案説明（花川常務理事）
 予算書の一般会計（資料4）、別途積み立て・名簿会計、特別会計・基本財産（資料5）について説明。以上承認された。

(10) 75周年記念卒業生名簿の廃棄について（花川常務理事）

個人情報保護法により、名簿の配布がむずかしくなった。現在650～700部の在庫あり。これを廃棄処分したい。以上了承された。

(11) 理事評議員候補者の追加について（花川常務理事）

芸術学部の卒業生の理事・評議員を増加したい。人選を執行部に一任してほしい。任期は平成21年4月まで。以上承認された。

(12) その他

1 本会名簿について（田沼会長）
 名簿はどのような形になるにしても発行したい。計画を前進させたい。

2 名簿の保管について（花川常務理事）

花川常務理事から卒業生16700名余の原簿を事務局が保管中であることが報告された。

3 支部の活性化について（田村理事）

全国高等学校文化連盟のイベントのときに支部に応援してもらおう、大学が開催する父母懇談会を支部とジョイントして開催するなどの提案があつた。

4 本会事務職員について（佐藤雅英理事）

同窓会事務室（芸術上訪内）があるので事務職を置いたらどうかと意見があり、理事会で再度検討することになった。

終了 19:35 以上

資料 2

2004年(平成16年度) 東京工科大学同窓会 決算書(1) 平成17年5月23日
【一般会計】
収入の部
支出の部
理事 加藤春生
会計 花川正英

資料 1

東京工科大学同窓会 執行役員・理事・評議員・支部長
17年度理事評議員会資料 1
任期 平成17年5月～平成21年4月まで
2002.04.08作成 2004.05 改訂
2002.06 改訂 2005.04改訂

資料 3

2004年(平成16年度) 東京工科大学同窓会 決算書(2) 平成17年5月23日
【別途独立・名簿会計】
【特別会計・基本財産】
理事 加藤春生
会計 花川正英

資料 4

2005年(平成17年度) 東京工科大学同窓会 予算 (1) 平成17年5月23日
【一般会計】
収入の部
支出の部
理事 加藤春生
会計 花川正英

資料 5

2005年(平成17年度) 東京工科大学同窓会 予算(案) (2) 平成17年5月23日
【別途独立・名簿会計】
【特別会計・基本財産】
理事 加藤春生
会計 花川正英

資料 6

平成17年度 各種委員会 構成員について
各委員会委員長よりの指名 下線は委員長
総務委員会
川名晴美(34期) 佐藤 雅英(34期) 佐土原 一浩(36期)
立川 宏司(42期) 花川 正英(44期) 上田 耕一郎(芸3期)
広報委員会
阪川 武志(37期) 中村 正弥(34期) 内藤 明(47期)
板垣 雅春(49期) 糸賀 成永(56期) 小林 研(芸3期)
事業委員会
加藤 春生(34期) 池田 陽子(39期)
立川 宏司(42期) 花川 正英(44期)
沿革史作成委員会
阪川 武志(37期) 池田 陽子(39期) 糸賀 成永(56期)
加藤 春生(34期) 花川 正英(44期)
HP準備委員会
木村 政夫(38期) 福村 敏(45期) 糸賀 成永(56期)

東京工芸大学芸術学部2006年度入学試験日程

※デザイン学科…VCはビジュアルコミュニケーションコース HPはヒューマンプロダクトコースの略です。

区分	出願期間	試験日	学科	種類	試験場	合格発表	入学手続締切日
自己推薦 入学試験	平成17年 10月17日(月) ～ 11月7日(月) <消印有効>	11月10日(木)	写真	実技	中野キャンパス	平成17年 11月18日(金)	平成17年 12月2日(金)
		11月10日(木)	メディアアート表現	基礎表現力			
		11月11日(金)	写真	論述			
		11月11日(金)	デザインHP	実技			
		11月11日(金)	メディアアート表現	企画構成力			
		11月12日(土)	映像	企画力			
		11月12日(土)	アニメーション	創作力			
		11月13日(日)	映像	創作力			
		11月13日(日)	デザインVC	実技			
一般入学 試験 (前期)	平成18年 1月10日(火) ～ 1月25日(水) <消印有効>	1月28日(土) am	アニメーション	学力	中野キャンパス	平成18年 2月4日(土)	平成18年 2月21日(火)
		1月28日(土) pm	アニメーション	創作力	駒澤大学		
		1月29日(日) am	映像	学力			
		1月29日(日) pm	メディアアート表現	学力	中野キャンパス		
		1月30日(月)	写真	学力			
		1月30日(月)	デザインHP	実技+学力			
		1月31日(火)	デザインVC	実技+学力			
一般入学 試験 (後期)	平成18年 2月6日(月) ～ 2月28日(火) <消印有効>	3月3日(金)	デザインVC	実技		中野キャンパス	平成18年 3月9日(木)
		3月3日(金)	メディアアート表現	実技			
		3月4日(土) am	映像	学力			
		3月4日(土) pm	写真	学力			
		3月4日(土) pm	映像	創作力			
		3月4日(土) pm	デザインHP	実技			
		3月4日(土) pm	メディアアート表現	学力			
		3月5日(日) am	写真	実技			
3月5日(日) pm	アニメーション	学力					
センター 試験利用 入学試験	平成18年 1月10日(火) ～ 2月8日(水) <必着>	本学による 個別学力考査は 実施しません	写真	—	出願時に課題提出	平成18年 2月11日(土)	平成18年 2月21日(火)
			映像	—			
			デザインVC	—			
			デザインHP	—			
			メディアアート表現	—			
アニメーション	—	出願時に課題提出					
留学生 社会人 帰国子女 入学試験	平成17年 11月21日(月) ～ 11月30日(水) <必着>	12月10日(土)	写真	論述	中野キャンパス	平成17年 12月16日(金)	平成18年 1月6日(金)
			映像	論述			
			デザインVC	実技 ※社会人は作品持参			
			デザインHP	実技			
			メディアアート表現	論述			
			アニメーション	創作力			

東京工芸大学芸術学部 入試事務室 / 〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 TEL: 03-5371-2676 (直)

編集後記

今号は1000号め。「ひろば」(28号から)になったときの広報委員長(編集長)であります24期の柳谷次男先生に巻頭言を頂きました。ひろばが始まったころのこと懐かしく思いだしております。次号は割合早いうちに発行いたします。当初予定しておりました同窓会75周年沿革史は、間もなく80周年を迎えますので、「80周年沿革史」として発行することになり、懸命に作業中です。年内、遅くとも2006年1月には完成いたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

記・阪川武志(37期)

